

会員だより

【本を読む楽しみ】

久井 菜知子

秋が深まり、コロナの波も落ち着き、ステイホームから解放された人々の笑顔がたくさん見られるようになってきた。

元々巣籠もりタイプの私は、ステイホーム中も大して苦にならず、韓流番組や読書を楽しみ、時間が足りないほど。

住まいの近くに大型書店があり、散歩がてらよく行く。流行りの電子書籍・ネット通販は利用せず、もっぱら紙の本・リアル本屋だ。買いたい本がないのにブラリと訪れ、思いがけない本と出会ったときは至福の喜び。一昨年購入した本棚2本に収まらない勢いで、本は増え続けている。面白そうな本があると、まず手に入れたくなり、手元にあると安心するタイプ。買っても読んでいないため、同じ本が2冊になることも。断捨離・終活はいつになることやら。

お気に入りの作家ができると、その作家の本ばかり買い、他の作家の本は手にもとらない。最近、阿川弘之、向田邦子、池波正太郎、井上ひさしなどがお気に入り。

歳をとり根気がなくなったからか、長編を読むのが億劫になり、短編やエッセイが多いが、毎日と、ほぼ5日ごとに必ず目を通す本がある。

*「一日一文」(岩波文庫)・先人たちの英知のことは・数行の文章から学ぶことも多く、この数行をきっかけに読んだことがない作家の本を初めて手に取ることもある。

*「日本の七十二候を楽しむ～旧暦のある暮らし～」(東邦出版)・二十四節気と七十二候という日本独特の季節ごとの味覚や草花、行事などがイラスト入りで楽しめる。季節を感じる事のできる一冊で、友人にもプレゼントしている。

私の本読みスタイルは父の影響が大きく、松本清張や池波正太郎にのめり込んだのも父の本からだった。JTBの月刊誌「旅」に連載された「点と線」で、時刻表に興味を持ったのは高校時代。JTB社員時代、時刻表は欠かせない資料だったが、隅々まで熟読したのは、退職前7年間の講師時代。特に後ろのピンクページ「JR線営業案内」は、複雑な規則をわかりやすく説明するための大切なページで、ここだけを切り取って講師資料にしていた。今は、端末機器が充実して、上手く操作できれば時刻表を見る機会も少なくなっているようだが……。

写真は、2009年4月号の時刻表。5月号が1000号となる前月の999号。銀河鉄道999の美しい表紙、大切な1冊である。

昭和33年11月7日創刊(郵便物認可) 2009年4月1日発行(毎月1日発行) 4月号 通巻999号第89巻第4号

JTB

2009

1000
JTB時刻表
SINCE 1928

時刻表

4

走りつづけて
スリーナイン

999号



グラフィア特集

<大正-昭和-平成 鉄道史の語り部“時刻表”のあゆみ>

©松本零士